

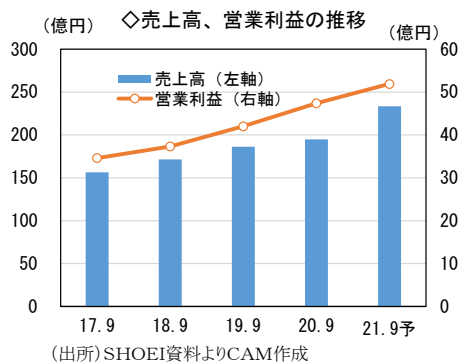
# 企業ニュース SHOEI

(東証1部 : 7839) <https://www.shoei.com>

作成者: 奥村義弘

## 二輪車用プレミアムヘルメットメーカー

1959年、ポリエステル加工を目的に設立。1960年、二輪車用ヘルメットの生産に着手。1998年に現在の商号に変更。国内外で高い評価を誇るプレミアムヘルメットのグローバルカンパニー。販売網は日本をはじめ、欧州、北南米、オセアニア、アジア等世界60カ国以上を網羅し、プレミアムヘルメットの分野で「SHOEI」は、ほとんど全ての国でシェアNo. 1となっている。21.9期・第2四半期累計の売上高構成比は二輪乗車用ヘルメットが89%だが官需用ヘルメット（航空機用や装甲車用）なども取り扱う。無借金経営で安定した高収益体質を誇る。



### 需要は好調、高水準の受注高

21.9期・第2四半期累計（10-3月）の連結業績は売上高が107億円、前年同期比24%増、営業利益が27億円、同32%増。販売地域別売上高は、欧州が43億円、同3%増。欧州市場ではロックダウン等経済活動に関する規制による影響はあったものの、販売数量は同7%減にとどめた。日本が24億円、同9%増。新型コロナウイルス感染対策としての二輪車需要が漸増、ライダーの高齢化に伴う高級モデルへの移行や買い増しの動きなどで堅調な販売が続いた。昨年9月に新モデル「Glamster」、今年3月に「Z-8」を投入した効果もあり、販売数量は同7%増。北米が12億円、同21%増。前期に実施した主力代理店の経営刷新や在庫調整が落ち着き、販売数量は同24%増。中国が22億円、同267%増。品質やブランド力が評価され好調を持続し、販売数量は同272%増。

21.9期の通期会社計画は売上高が234億円、前期比20%増、営業利益が52億円、同9%増。新型コロナウイルス感染症の影響などからその影響を合理的に算定することは困難とし、業績予想を据え置いているが、第2四半期累計の連結受注高は174億円、前年同期比69%増、第2四半期末の受注残高は147億円、同2.4倍に達している。高水準の受注を消化し、業績は上振れる可能性が高いと考える。今後は生産能力の増強などが課題となりそうだ。

### [株価動向・投資判断]

二輪はアフターコロナの3密を避ける生活様式に対応した商品と言えよう。その市場拡大の恩恵を受ける、ニッチ・高シェアな関連商品を有する企業として関心を集めよう。

<7839 SHOEI 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
19.9	18,616 ( 9 )	4,203 ( 13 )	4,179 ( 11 )	2,935 ( 14 )	106.6	106.00
20.9	19,479 ( 5 )	4,740 ( 13 )	4,746 ( 14 )	3,348 ( 14 )	123.9	62.00
21.9 予	23,350 ( 20 )	5,190 ( 9 )	5,200 ( 10 )	3,560 ( 6 )	132.6	66.00

(注)20年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。19.9期の1株配当は当該株式分割前の実際の配当金額



[主要株価指標]	(売買単位: 100株)
株価 (2021/7/2)	4,200 円
年初来高値 (高値日)	4,955 円 (21/3/22)
同 安値 (安値日)	3,730 円 (21/6/11)
予想 P E R (21.9 予)	31.7 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	601.9 円
P B R	6.98 倍
予想配当利回り	1.57 %
(1株当たり配当金 66.00円)	
R O E (20.9)	21.8 %
発行済み株式数	2,686 万株